

1 未来へのまちづくり

(1) 密集市街地の防災・減災について

国の地震調査委員会が南海トラフ巨大地震について、今年1月1日を基準日として再計算した結果、今後30年以内の発生確率を、これまでの「70%程度」から「70%～80%」に引き上げた報道があった。

そして同委員会は、「次の地震が少しずつ近づいていることを認識することが重要」と改めて備えを呼びかけている。

しかし、大規模災害に対する防災・減災対策は、多くの課題がある。そこで、以下の課題について伺う。

- ① 密集市街地の防災・減災について現在どのような対策を取っているのか伺う。
- ② 自治会を中心として、地区で行われている防災訓練の内容が、マンネリ化しているが、このことについて今後の考えを伺う。
- ③ 防災ファイルが作られて2年、資料の追加や改定して内容を充実する考えを伺う。

(2) まちのにぎわいづくりについて

先日、富山市に「中心市街地活性化の取り組みについて」のテーマで行政視察を行い、中心市街地の高齢化・後継者問題・郊外型大型店舗の進出・商店街の空き店舗など同じ問題点があった。

そこで、「まちのにぎわいづくりについて」伺う。

- ① ジュビロードに市が誘致した店舗が進出するが、今後2店舗目・3店舗目の誘致の計画があるか伺う。
- ② 中心市街地の空き店舗の活用の現状と今後について伺う。
- ③ 中心市街地の課題を解消するには、まちのにぎわいを取り戻す事が絶対条件であり解決策である。今後、専門に従事できる人材や団体が必要と思う。

今後、まちづくりのための専従の人材確保や団体設立を検討する事が可能か、また静岡産業大学や農林大学校・東海福祉専門学校の学生や地元の若者の力や発想力をまちのにぎわいづくりに取り入れる考え

があるか伺う。

- ④ 磐田駅北口前に人々の往来を700年前から見守っている、県指定天然記念物の「善導寺の大樟」がそびえているが、このところ葉が落ちて元気がない。現状と今後について伺う。

(3) 公園管理事業について

公園は市民の、特に子どもたちにとって楽しい空間であり地域にとっても必要な憩いの場でもある。

磐田市には、維持管理している公園が275カ所あるが、管理状況等以下について伺う。

- ① 設置してある遊具の安全点検はどのように行っているか伺う。
- ② 公園内の「マダニ」や「ヒアリ」などの害虫の検査や駆除について伺う。
- ③ まち美化パートナーや愛護会の104団体の方たちに維持管理をしていただいているが、現状と今後の課題について伺う。
- ④ 子育て世代の母親から「砂場の砂が柔らかいともっと楽しく遊べる」また「もう少し駐車場が広いと大勢の子どもたちが遊びに来れる」と言う声を聞いている。

公園利用者の意見や要望に対してどのように対応しているのか、現状と今後について伺う。